

公明党 横浜市会ニュース 第60号

# VOICEよこはま

公明党横浜市議員団 〒231-0017 横浜市中区港町1-1 TEL 671-3023 FAX 681-2060 http://www.yhkomei.com/ E-mail:shikai@yhkomei.com

**民衆の声を**  
ボイス



地中空洞探査車両を視察(6月2日)

**道路の陥没防止**  
**空洞化対策を推進**

その後、平成24年第3回定例会において、路面下の空洞化対策、重要橋りょう・歩道橋の地震対策等について質問。

その結果、林文子市長から、3年間で全ての緊急輸送路380kmの空洞化調査を行うほか、病院、消防署、警察署、地域防災拠点、港湾施設など災害時に重要な役割を果たす拠点と緊急輸送路をつなぐ道路の調査を始め、空洞が発見された場合は、速やかに補修などの対応を行う旨の答弁がありました。

**都市インフラの総点検を進む!**  
**ヨコハマ・リフレッシュ計画**

震災に備え、老朽化する都市インフラの危険要因を把握して、防災・減災対策に生かす取り組みが重要との観点から、公明党横浜市議員団は本年8月、市長に「事前防災・減災の推進を求める要望書」を提出しました。

**横浜港の港湾施設を調査**

横浜港の235ある岸壁や護岸といった主な港湾施設のうち、建造後50年以上経過しているものは現在48施設、2032年時点では半数近い115施設に上ります。

公明党横浜市議員団は、こうした港湾施設における老朽化等の状況を把握するため横浜港を調査し、市内経済の要であり、災害時にも輸送の重要な経路となる港湾施設の耐震化、防災対策及び長寿命化を計画的に進めるよう平成25年度予算要望で市長に申し入れました。



港湾施設を視察(8月9日)

**公明党横浜市議員団**

**第7回 マニフェスト大賞“優秀成果賞”、“審査委員会特別賞”を受賞**

「横浜市民協働条例」の制定を推進した公明党横浜市議員団が、11月2日第7回マニフェスト大賞・優秀成果賞と審査委員会特別賞を受賞しました。マニフェスト大賞とは、これまで注目を集めることの少なかった地方自治体の首長、議会、議員等の活動を審査して(北川正恭審査委員長)地道な活動を積み重ねる人々に名誉を与え、さらなる政策提言意欲の向上につながることを期待して設けられたものです。今回は過去最高となる総計1376団体 1889件の応募があり、地方議会部門15団体8名、首長部門5名、市民等部門9団体1名が受賞しました。

代表受賞する和田(旭区)・齊藤(保土ヶ谷区)両議員(右から)

**地域実績の紹介**

**地下道に手すり設置**

この地下道(港南台1の29の18付近の地下道)は、横浜横須賀道路をくぐるための道で、薄暗い坂道となつています。そのため、地域住民から安全に通行できるように手すりを設置してほしいとの要望が安西に届けられました。安西は、港南台連合自治会長に地域の希望であることを確認した上で、要望書を作成し7月初旬に港南土木事務所に要望。9月初旬に手すりの設置工事が行われました。自治会長より「高齢者が安全に通行できるようになった」「手すりの設置はありがたかった」とのお声をいただきました。

**相談窓口の紹介**

●「女性の健康相談」不妊・不育相談等を行っています。

ご相談の内容により、専門医・婦人科助産師等による不妊・不育専門相談を紹介します。

◆相談担当者：助産師・保健師

◆費用：無料

◆相談日等のお問い合わせ先：「港南区福祉保健センター」ご家庭支援課

☎045・671・4725

※月曜～金曜 9:30～12:00/13:00～16:30(祝日・年末年始を除く)

☎045・865・2040

\*月曜～金曜 9:00～20:00

土曜・日曜・祝日 9:30～16:00

(第4木曜・年末年始を除く)

●横浜市DV相談支援センター(電話相談窓口)

支援内容：配偶者等からの暴力の相談や緊急時の安全確保するための相談

☎045・671・4725

\*月曜～金曜 9:30～12:00/13:00～16:30(祝日・年末年始を除く)

☎045・865・2040

\*月曜～金曜 9:00～20:00

土曜・日曜・祝日 9:30～16:00

(第4木曜・年末年始を除く)

●横浜市DV相談支援センター(電話相談窓口)

支援内容：配偶者等からの暴力の相談や緊急時の安全確保するための相談

☎045・671・4725

\*月曜～金曜 9:30～12:00/13:00～16:30(祝日・年末年始を除く)

☎045・865・2040

\*月曜～金曜 9:00～20:00

土曜・日曜・祝日 9:30～16:00

(第4木曜・年末年始を除く)

**人に優しい政策が実現、スタートしました!**

●妊婦歯科健康診査がスタート

10月から妊娠中に1回、無料の歯科健診を開始。母子手帳と一緒に無料受診券が交付され、市内950カ所の歯科診療所で予約の後、受診することができます。

●小児医療費助成制度の対象が拡大

10月から通院にかかる小児医療費無料化の対象年齢が就学前から小学1年生までに拡大されました。

公明党は、平成4年に横浜市会で初めて無料化を主張して以来、一貫して拡充に努力してきました。今後も、所得制限の撤廃とともに小学6年生までの拡大を目指します。

●24時間対応の訪問介護・看護サービス

高齢化が進む中、自宅で安心して介護や医療サービスを受けられる24時間型の訪問介護・看護サービスが10月から始まり、現在、各区に

●障害者虐待防止センターを開設

10月から障害者虐待防止法が施行され、併せて通報・届け出窓口が開設されました。

精神保健福祉士や社会福祉士などの専門職が24時間365日対応します。通報や届出の内容から、虐待が疑われるケースについては、健康福祉局や各区福祉保健センター等が連携しながら障害者の保護・自立の支援等に向け対応していきます。

●犯罪被害者への相談窓口を設置

犯罪被害に苦しむ被害者やその家族の相談に応じ、支援するための犯罪被害者相談窓口が開設されました。県の窓口とは別に、横浜市独自に福祉職を配置し、関係専門機関とも連携して相談者に寄り添いながら支援します。

☎045・671・3117 (平日9～17時受付)

☎045・662・0655 (24時間受付)